

学校生活での確認事項【8月20日版】

南アルプス市立大明小学校

学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～2020.8.6Ver3) 参照

1 基本的生活習慣

- ① 人との間隔は、できるだけ2m(最低1m)あけます。
- ② 会話をする時は、可能な限り**真正面を避けます**。また、**大声を出さない**ようにします。
- ③ 学校(校舎内)では原則としてマスクを着用します。(ただし、熱中症には十分注意します。)
- ④ マスク、**清潔なハンカチとティッシュ、マスクを置く清潔なビニールや布を必ず持たせてください**。
- ⑤ 必要な換気をしつつ、エアコンの冷気が逃げない教室環境づくりをします。
 - ・**二酸化炭素濃度の基準を満たすために**、教室の窓・扉の開放率を、教室の全窓・扉面積の**10%より高く設定し**、かつ空気が換気されるように解放します。
 - ・**十分な換気で、マイクロ飛沫感染(この感染症で注目される感染経路で、細かい飛沫が、換気が悪い密室等において空気中を漂い、少し離れた距離や長い時間において感染が起こる。空気感染とは違う。)**にも対応します。※扇風機は、エアコンの冷気を循環させる目的で使用しています。
- ⑥ 教室を出入りする時や活動の前後など、決められたタイミングで手をアルコール消毒または手洗いをします。
- ⑦ 新型コロナウイルス感染した人、感染疑いのある人に対して差別的行為、発言をしないように指導します。
- ⑧ **地域の感染レベル(どのレベルかは、市教委が判断)に応じて、対応を変えて活動します**。

2 基本的な感染症対策

(1) 感染源を絶つことを徹底します。

- ① 発熱等の風邪症状がある場合は、児童も教職員も自宅で休養します。
 - ※**地域の感染レベルが「2または3」の場合、同居者に発熱等の風邪症状がある場合も、登校することができません。ご心配な場合、学校までご連絡ください。なお、8月20日現在の南アルプス市の感染レベルは「1」です。**
- ② 引き続き、当面の間、健康チェックカードを、教室に入る前に(児童玄関前)確認します。
 - ※健康チェックカードを忘れた場合、教室に入ることができません。保護者に連絡が取れるまで、保健室で待機します。健康チェックカードを忘れないでください。
- ③ 登校時に発熱等の風邪症状が見られた場合は、症状がなくなるまで自宅で休養するように指導します。必要に応じ受診を勧めます。

(2) 感染経路を絶つことを徹底します。

新型コロナウイルス感染症は、一般的に飛沫感染、接触感染で感染すると考えられているため、次の3つを重視します。

- ① 手洗い・消毒を習慣づけます。
 - ・外から教室に入る時
 - ・咳やくしゃみ、鼻をかんだ時
 - ・給食の前後
 - ・掃除の後
 - ・トイレの後
 - ・**共有のものをさわった時**
 - ※**人は無意識で顔をさわるので、手指で目、鼻、口をできるだけさわらないように指導します。**
- ② 咳エチケットを指導します。
 - ・マスク着用
 - ・ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う
 - ・袖で口・鼻を覆う
- ③ 清掃・消毒を毎日行います。
 - ・**一時的な消毒の効果を期待するよりも、清掃で清潔な空間を保ち、健康的な生活により児童の免疫力を高め、手洗いを徹底します。**
 - ・床は、通常の清掃活動で対応します。
 - ・机・いすは、衛生環境を保つ観点から、給食時と下校時の消毒を継続します。
 - ・トイレ、手洗い場は、通常の清掃活動で対応します。
 - ・**器具・用具・清掃道具など共用するものは、その都度消毒するのではなく、使用前後に手洗いをを行うように指導します。**

(3) 抵抗力を高める指導をします。

- ① 十分な睡眠、適度な運動、バランスのとれた食事を心がけるように指導します。

3 登校時

- ① 登下校時のマスク着用は、登下校距離、気候状況、児童の体調に応じて、ご家庭で判断をお願いいたします。
マスクをして登校する場合も、時々、自分の判断で必要に応じてマスクをはずし、熱を逃がすようにご指導をお願いします。
- ② 日傘を使用しての登下校も可能ですので、ご検討してください。

4 学習活動

(1) 自教室での授業

- ① 近い距離で向かい合っただけの学習活動はなるべく行いませんが、学習指導要領で求められている対話的な学習を行う時は、マスク着用はもちろん、できるだけ真正面での会話を避け、1m以上離れて短時間で行います。
- ② 意見交換が必要な学習活動により、机の向きを変える場合も前後左右1m離れて座るように設定します。

(2) 音楽の授業

- ① 歌唱指導
 - ・マスクを着用し、短時間で歌います。
 - ・壁を背にして、広がって歌います。近くで向かい合ったり、列で並んだりしません。
 - ・学年全体で歌う時は体育館で、学級単位で歌う時は視聴覚室や音楽室等、広い空間で行います。
- ② 管楽器指導
 - ・鍵盤ハーモニカ、リコーダーの指導は、歌唱指導と同じ方法で行います。
 - ・マスクを外した時に、必要ないおしゃべりをしないように指導します。
- ③ その他
 - ・接触、密集を伴うリズム遊びはしません。
 - ・大明小ばやしは、1学期に4、5年保護者から保護者の承諾を得ておりますが、内容、場面、練習方法の工夫、消毒等により十分気をつけて練習を継続します。地域の感染レベルが2以上の時は、感染リスクが高い管楽器の活動は行いません。

(3) 体育の授業

- ・マスクは着用しません。
 - ・マスクを外した際、児童間及び教師との距離2mを確保します。また、 unnecessaryな会話や発声をしないように指導します。
- ① 校庭での指導
 - ・授業の前後に必ず手洗い、消毒をします。
 - ・教師の補助は、安全上、必要に応じて接触して行います。
 - ② 体育館での指導
 - ・換気して行います。
 - ・体育館でのボール運動（バスケ、ポートボール等の接触・密集場面が多い活動）は、当面行いません。
 - ・マット・とび箱運動は、組み合ったり接触したりする運動を除いて行います。
 - ③ その他
 - ・次学年でも実施する内容は、次学年に送る場合もあります。
 - ・運動会は、3密回避のための方法や種目により、午前中のみの実施で行います。
 - ・運動会に向けての練習は、必要最小限で行います。

(4) 家庭科の授業

- ① ミシンを使った学習は、活動前後に手洗いや消毒を行った上で、密接しないで行います。
- ② コロナウイルス感染症が収束するまで、調理実習は行いません。

(5) 理科の授業

- ① 児童同士が近距離で活動する実験や観察は、地域の感染レベルの状況に応じて実施します。

5 休み時間

- ① 暑さ指数(WBGT)が31℃以上の時は、外で遊ぶことができません。
- ② 外で遊ぶ時は、熱中症にならないために、マスクをはずすことも意識するように指導します。
 - ・友達とじゅうぶん離れて(2mがめやす)遊ぶ時は、マスクを外して遊びます。
 - ・外で遊ぶ時は、必ず帽子をかぶります。
 - ・日陰で休んだり、水分補給をしたりしながら遊びます。
 - ・密集・密接しやすいサッカーなどをする時は、マスクをつけたまま遊び続けず、時々、離れたところでマスクを外して休みます。
- ③ 中学生がグラウンドで授業をしていない時は、中学校のグラウンドも使うことができます。中学校の校舎には近寄りません。

6 給食時

- ① 給食時の確認(別紙)を守って準備から片づけまでを行います。担任から児童に、事前に説明します。
 - ・前向きで食べます。
 - ・配膳,おかわり,片付けの時には,密集を避けます。
 - ・食べる時だけマスクを外し,食べ終わったらマスクを着用します。
 - ・牛乳・デザート当番は,配膳室の中には入らず,配膳室入口で庁務員さんから受け取ります。
 - ・配膳室の密集を回避するため,教員がワゴンを片付け,食缶をコンテナへ返します。
- ② 自分の机専用の布巾を持ってきて,担任が机に消毒薬をかけたら自分で拭きます。(2年生以上)
布巾は毎日持ち帰ります。(水道場が密集場所となるので,学校では洗わない。)
- ③ 机を消毒するので,当面ランチョンマットは使いません。
(ランチョンマットは繰り返し使用するため,適切でない。)
- ④ 学年の配膳方法の中で,できるだけ密集場面をなくし,おしゃべりしないで配膳します。
- ⑤ 歯みがきは当面しません(水道場での密集や歯ブラシでの飛沫を未然防止)。コップは必要ありません。

7 清掃時

- ① 従来通り水拭き掃除を行います。
- ② 雑巾は水洗い後,風通しの良いベランダなどに干します。
- ③ 鼻をかんだティッシュ,不要になったマスク等は,すぐにビニール袋に入れて密閉して捨てます。
(1年生は,ふたつきのごみ箱に捨てます。)

8 図書館

- ① 本の利用
 - ・読む前と後に必ず手洗いをします。
 - ・読む時はマスクを着用します。
- ② 図書館の利用
 - ・図書の間は,返却・貸出の後,教室で読みます。
 - ・休み時間は,返却・貸出の後,教室で読みます。
 - ・調べ学習・総合の学習の時間は,必要な資料を学級貸出し,教室で資料を利用します。
 - ・フリータイム・昼休みの図書館室利用は,学年ごとに割り振られた曜日に利用します。

9 下校後

- ① 児童下校後,教職員全員でドアノブや手すり,水道のカラン等,児童が触れやすい場所の消毒を行います。

10 その他

- ① ものの表面についたウイルスの生存期間は,付着したものの種類によって異なりますが,24時間~72時間くらいと言われています。
消毒できない箇所は,生存期間を考慮して処置します。